

# 子どもと遊び

ヒント！

子どもがまだ小さくて、どうやって遊んであげたら良いのかわかりません。

いつも同じ遊びで飽きないのかな？

子どもの“遊び”ってなあに？

## 子どもにとっての“遊び”とは

子どもが自分から好んで行う自発的な活動です。特に就学前の子どもは、遊びが生活の大半を占めています。大人はお膳立てしすぎず、子どもの意思を尊重し、見守りながらじっくりと遊べる時間や環境を作ってあげましょう。

## “遊び”と子どもの育ち

夢中になって遊ぶことで、「見たい・知りたい・やってみたい」という知的好奇心が刺激され、自分で考える力や創造性が育ちます。外遊びなど身体を動かす遊びでは、体幹が鍛えられ体力がつきます。また、いろいろな人と遊ぶことで人とのやり取りを学び、コミュニケーション能力が育ちます。このように「遊ぶ」ことは、主体的な学びが得られる貴重な機会であり、子どもの力を育む大切な活動です。

## ★遊び方にも成長段階があります

### 【0～1歳の頃】

まだ小さな赤ちゃんでも様々なことを感じ、吸収し、日々成長しています。視覚や聴覚がはっきりしてくると、光や音に反応して追いかけるようになります。物が握れるようになると、それを口に入れて確かめようとします。赤ちゃんでも興味を持ったものなどで遊んでいるのです。

「遊んであげなくちゃ」と気負いすぎず、抱っこでお散歩しながら心地よい風を感じたり、呼びかけに優しく語り返してあげたり...

赤ちゃんも大人も「気持ちいい」と感じられるようにゆったりと一緒に過ごしてあげましょう。

※ 裏面に続きます。

ご相談のある方はお電話ください  
港南福祉保健センター こども家庭支援課 こども家庭相談  
847-8439 (月～金 祝日・年末年始を除く 8:45～17:00)

# 子どもと遊び

ヒント！  
(表面より続きます)



## ★遊び方にも成長段階があります

### 【2～3歳の頃】

何人かの子どもが同じ場所で遊んでいる時、“近くにいて同じことをしているのに友だちとやり取りをせず、それぞれが勝手に遊んでいる”そんな様子が見られます。「うちの子は、お友だちと関わるのが苦手なのかしら？」と心配になるかもしれませんが、この頃は、まだ友だちと一緒に何かをするという意識はあまりなく、自分だけの遊びを楽しんでいる段階です。

その子なりの“楽しい！”を大切にしたいですね。



### 【4～6歳の頃】

社会性が芽生えてきて、だんだん友だちのしていることに興味を持ったり、一緒に遊ぶ楽しさを味わったりできるようになります。

時にはぶつかることもありますが、それも経験！大人は口を出しすぎず、見守ってあげましょう。



## 【保育園にあそびにきませんか？】

保育園・認定こども園では園庭開放を実施しています。日時等各園の詳細情報は、港南区のホームページに掲載していますので、こちらをご覧ください。

また、園庭開放の様子を紹介する動画も掲載しています。どうぞ併せてご覧ください。

URL : <https://youtu.be/hl0KfxBhJ6U>

